



35:16 彼らはベテルから旅立った。エフラテに着くまでまだかなりの道のりがあるとこ
ろで、ラケルは出産したが、難産であった。
35:17 彼女が大変な難産で苦しんでいたとき、
助産婦は彼女に、「恐れることはありません。
今度も男のお子さんです」と告げた。
35:18 彼女が死に臨み、たましいが離れ去ろ
うとしたとき、その子の名をベン・オニと呼
んだ。しかし、その子の父はベニヤミンと名
づけた。
35:19 こうしてラケルは死んだ。彼女はエフ
ラテ、すなわちベツレヘムへの道で葬られた。
35:20 ヤコブは彼女の墓の上に石の柱を立て
た。それはラケルの墓の石の柱として今日に
至っている。
35:21 イスラエルは旅を続け、ミグダル・エ
デルを過ぎたところに天幕を張った。
35:22 イスラエルがその地にとどまっていた
ころ、ルベンが父の側女ビルハのところに
行って、彼女と寝た。イスラエルはこのこと
を聞いた。ヤコブの子は十二人であった。
35:23 レアの子はヤコブの長子ルベン、シメ
オン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン。
35:24 ラケルの子はヨセフとベニヤミン。
35:25 ラケルの女奴隷ビルハの子はダンとナ
フタリ。
35:26 レアの女奴隷ジルパの子はガドとア
シェル。これらはパダン・アラムで生まれた
ヤコブの子である。
35:27 ヤコブは、キルヤテ・アルバ、すなわ
ちヘブロンにいた父イサクのところ
に着いた。そこは、アブラハムとイサクがか
つて寄留していたところである。

35:28 イサクの生涯は百八十年であった。
35:29 イサクは年老いて満ち足り、息絶えて
死に、自分の民に加えられた。息子のエサ
ウとヤコブが彼を葬った。

波乱万丈の半生でありましたが、ヤコブは神の
計画通りに父の祝福を受け継ぐために、生まれ故
郷に帰りました。人が意図してまとめた物語なら
ば、それで平和に終わるところですが、聖書はそ
うではありません。人は罪ゆえに神からの栄誉を
受けることができなくなっているのです。つまり
地上にあっては問題がなくなることはないのです。
それは死の問題であり、またその原因である
ころの罪の問題です。ここにきてラケルが死を迎
えました。またルベンは父のそばめ(妻のような
存在)と男女の関係を持ってしまったのです。ヤ
コブは嘆き悲しみ、また反省もしたでしょう。

私たちの人生にも同じように、問題や困難また
失敗や反省が尽きることがありません。しかし、
だからこそ私たちは神様の計画に希望を持って進
む必要があるのです。

神様は最終的にはすべての悩み苦しみを解決す
るところの永遠の命を与えてくださいました。ま
た悩み苦しみの世を、その主権で新しい神の国へ
と変えてくださいます。そのためのイエス様の十
字架であり、またそれを表すためのイスラエル民
族とその始祖アブラハム、イサク、ヤコブです。

永遠の神の救いとそのご計画のために生きま
しょう。そのご計画の中で自分にある尊い使命に
気づきましょう。そしてそれを果たすために、成
長し、聖められ、変えられて生きましょう。その
ようにして神様の御心と近く歩むことがどんなに
素晴らしい人生か、自ら体験して証ししていきま
しょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願
いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

